

## 日・ASEAN外相会議

### 議長声明(骨子)

令和元年8月2日

注:日ASEAN外相会議は、ASEANが「対話国」と実施するASEAN拡大外相会議の一つとして行われ、議長声明は全対話国分を一括して作成される。総論(パラグラフ1～7)及び日本関連部分(パラグラフ33～37)の要点は以下のとおり。

#### 総論(各国共通:含む地域・国際情勢)

●特に、戦略的な信頼の強化、連結性イニシアティブの連結を通じたシームレスなASEANの促進、地域に安定と繁栄をもたらすために持続可能な経済成長及び開発を追求し、誰も取り残さない、人間中心、かつ人間志向で未来志向のASEAN共同体の実現を通じた、タイのASEAN議長国優先テーマ「Advancing Partnership for Sustainability」への支持を強調。

グリーンエコノミー、スマートで持続可能な都市、海洋ごみに対する取組を含む持続可能な環境、減災及び災害救援、高齢化社会の問題への対処といった全ての分野の持続可能性を確保する協力の重要性も強調。この関連で、第34回ASEAN首脳会議における「持続可能なパートナーシップのASEAN首脳ビジョン」の採択を歓迎。(パラグラフ3)

●ASEAN+1, ASEAN+3 (APT), 東アジア首脳会議 (EAS), ASEAN地域フォーラム (ARF) 及び拡大ASEAN国防会議 (ADMM+) を含むASEAN主導のメカニズムに立脚し、地域枠組みの進展に際してのASEAN中心性及び一体性の重要性を強調し、自由で開かれた、包摂的で、ルールに基づくASEAN中心の地域枠組みを支持するとのコミットメントを強調。

ASEAN中心性、開放性、透明性、包摂性、ルールに基づく枠組み、良い統治、主権尊重、内政不干涉、既存の協力の枠組みとの補完性、平等、相互尊重、相互信頼、相互利益、国際法の尊重の原則に基づくインド太平洋に関するASEANアウトルックを評価。この観点から、対話国の閣僚は、地域の平和、自由及び繁栄に資するべく、海洋協力、連結性、持続可能な開発及び経済協力といった、同アウトルックの主要分野におけるASEANとの協力を支持し、着手するよう促された。(パラグラフ5)。

●保護主義及び反グローバリゼーションの潮流を含め、世界貿易が不透明な中、世界貿易機関(WTO)が具体化しているとおおり、開放的で、包摂的で、透明で、ルールに基づく多国間貿易体制を支持するとのコミットメントを再確認。東アジア地域包括的経済連携(RCEP)参加国の閣僚は、今日までの交渉の進捗を歓迎し、全ての参加国に対して、現代的で、包括的な、質の高い、かつ互恵的なRCEPを年内に妥結させるために努力を強化するよう促した。A

SEAN議長国を含むいくつかのASEAN加盟国による最近のG20大阪サミットへの参加を評価し、スマートシティ、金融包摂及び環境といった、ASEANとG20の間の互恵的分野における相互作用及び協力強化を期待。(パラグラフ6)

●貿易、朝鮮半島情勢、テロ、国境を越える犯罪、サイバー・セキュリティ、不拡散、持続可能な開発協力、南シナ海における最近の進展を含む、共通の関心及び懸念事項である地域・国際情勢に関する意見交換を実施。南北首脳会談及び米朝首脳会談によってもたらされた前向きな進展を再確認するとともに、朝鮮半島の非武装地帯における米朝首脳との最近の面会を歓迎。朝鮮半島の完全な、検証可能な、かつ、不可逆的な非核化、全ての国連加盟国による関連する国連安保理における義務の履行及び朝鮮半島における恒久的な平和と安定の確立、を達成するための国際的な取組の重要性を強調。当事者間の平和的対話に向けた雰囲気醸成促進に資する、ARF等のASEAN主導のプラットフォームの重要性を強調。国連安保理決議第2396号の履行を含むテロ対策、サイバー・セキュリティ、及び持続可能な開発協力の継続を決定。国連海洋法条約(UNCLOS)等の国際法の遵守等を通じて、地域におけるルールに基づく秩序を推進することの重要性を議論。南シナ海における平和、安全保障、安定、安全並びに航行及び上空飛行の自由を維持・促進することの重要性を再確認し、南シナ海行動宣言(DOC)の完全かつ実効的な履行の重要性を強調し、実効的かつ実質的な南シナ海行動規範(COC)の交渉における進展に勇気づけられた。相互の信用及び信頼を高め、活動の実施に当たっては自制し、状況を更に複雑化させ得る行動を回避し、UNCLOSを含む国際法に従って紛争の平和的解決を追求することの必要性を再確認。非軍事化及びクレイマント国やその他の国による全ての活動における自制の重要性も強調。(パラグラフ7)

## 日本

●日本のASEAN統合努力に対する継続的コミットメントを歓迎し、日ASEAN戦略的パートナーシップを一層強化し、2013年の日ASEAN友好協力ビジョンステートメントの改訂版実施計画及び日ASEAN友好協力45周年を記念した第21回日ASEAN首脳会議共同声明の効果的な履行を通じた協力強化のためのコミットメントを再確認。日ASEAN統合基金(JAIF)の下でのJAIF2.0に対する2019年3月の10億円の追加拠出を通じたASEAN統合イニシアティブ(IAI)Ⅲの実施、並びに、第10回日メコン首脳会議における「東京戦略2018」の採択を含む、日本のASEANの発展に対する継続的な支援及び貢献を評価するとともに、更なる強化への期待を表明。2019年5月13日、東京における日ASEAN技術協力協定の署名を歓迎し、ASEAN共同体の統合努力を一層支援する同協定の早期実施を期待。さらに、ASEAN議長国の優先テーマである「Advancing Partnership for Sustainability」及びASEANセンターに対する日本の支援に謝意を表明。(パラグラフ34)

●双方は、新たなテロ及び国境を越える犯罪と闘う協力のための日ASEAN共同宣言(SO MTC)のテロ及び国境を越える犯罪撲滅のための日本による作業計画(2018-2022)の効果的な実施の確保、及び2018年にタイに設立された日ASEANサイバー・セキュリティ能力構築センターを通じたものを含む、サイバー・セキュリティに関する協力強化の必要性を強調。(パラグラフ35)

●日ASEAN10か年戦略的経済協カロードマップ(2016-2025)、日ASEAN包括的経済連携(AJCEP)協定及び既存の経済連携協定の履行を通じて、貿易・投資関係を一層深化・拡大させることに同意。双方は、サービスの貿易章、自然人の移動章及び投資章を組み込むAJCEP協定第一改正議定書の早期発効に期待。IAI作業計画Ⅲ、MPAC2025及び国際的スタンダードにのっとりた質の高いインフラ開発の重要性を強調。第22回日ASEAN首脳会議において、日ASEAN交通連携等のイニシアティブを通じ、当該分野の日ASEAN協力を一層強化するための連結性に関する共同声明の採択を期待。地域の連結性のために日本とASEAN各国とが二国間で締結している協定の内容を超える、より自由で、互恵的な日ASEAN航空協定交渉が成功裡に妥結されることを期待。朝鮮半島情勢に関する議論の文脈で、複数の閣僚は、拉致問題の解決を含む、国際社会が有する人道上の懸念に対処することの重要性を強調。(パラグラフ36)

●保健、環境、海洋プラスチックごみ、質の高いインフラ、運輸、スマートシティ、気候変動及び減災の分野において、協力強化を継続することに同意。ASEANは、日本のASEAN防災人道支援調整(AHA)センターの活動に対する継続的な支援に謝意を表明。アジア健康構想(AHWIN)の下での対象分野を拡大するための日本の提案及び実施を歓迎。JENESYS、文化のWAプロジェクト、Sport for Tomorrow、東南アジア青年の船(SSEAYP)を含む様々な事業を通じて、特に、ASEAN及び東アジアの青年及び知識人との間の人的交流及びスポーツ・文化交流に対する日本の継続的な支援にも謝意を表明。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会及びその先に向け、スポーツ・文化分野の協力事業及び行事を更に促進することに同意。2019年10月、横浜で開催予定の日ASEANスマートシティ・ネットワーク・ハイレベル会合に期待。貿易、投資、観光、人的交流、及び日ASEAN対話関係全体の強化を促進するための日本アセアンセンターの貢献を評価。さらに、日ASEAN間の人々の理解を促進する上で、国際交流基金アジアセンターの果たした役割を高く歓迎し、同センターによる継続的な貢献に対する強い期待を表明。2019年6月及び7月にハノイで開催されたASEAN-Japan Day 行事の成功裡の開催を歓迎。(パラグラフ37)

(了)